

平成24年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月27日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 フュージョンパートナー
 コード番号 4845 URL <http://www.fusion-partner.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 田村 健三
 (氏名) 木下 朝太郎

TEL 03-6418-3898

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年6月期第1四半期の連結業績(平成23年7月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年6月期第1四半期	411	30.2	56	50.7	49	28.7	36	△46.9
23年6月期第1四半期	315	10.2	37	37.7	38	40.9	69	147.9

(注) 包括利益 24年6月期第1四半期 42百万円 (△36.1%) 23年6月期第1四半期 67百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年6月期第1四半期	263.07	—
23年6月期第1四半期	513.49	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年6月期第1四半期	1,741	1,379	79.2	9,878.38
23年6月期	1,722	1,379	80.1	9,879.11

(参考) 自己資本 24年6月期第1四半期 1,379百万円 23年6月期 1,379百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年6月期	—	250.00	—	250.00	500.00
24年6月期	—	—	—	—	—
24年6月期(予想)	—	300.00	—	300.00	600.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年6月期の連結業績予想(平成23年7月1日～平成24年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	820	50.3	130	69.4	129	63.1	90	512.9	644.35
通期	1,640	21.4	260	26.3	258	22.2	180	32.5	1,288.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年6月期1Q	149,539 株	23年6月期	149,539 株
24年6月期1Q	9,863 株	23年6月期	9,863 株
24年6月期1Q	139,676 株	23年6月期1Q	134,676 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	P. 6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	P. 7
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 8
(4) セグメント情報等	P. 8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当企業集団は、事業の選択と集中を推進し、経営資源の効率化による企業価値の向上に努めました。

SaaS/ASP事業及び言語処理関連事業が好調な滑り出しとなり、当連結会計年度の売上高は411百万円(前年同期比30.2%増)、営業利益は56百万円(前年同期比50.7%増)となりました。経常利益は、営業外費用として出資先投資事業組合にて運用損7百万円等が発生したため、49百万円(前年同期比28.7%増)となりました。

なお、四半期純利益につきましては、当第1四半期では繰延税金資産の取り崩しが12百万円発生しているため、36百万円(前年同期比46.9%減)となりました。

セグメント別の状況は以下の通りであります。

○ SaaS/ASP事業

SaaS/ASP事業につきましては、デジアナコミュニケーションズ(株)が提供する検索結果に画像が表示されるサイト内検索サービス『i-search』の導入実績も増加し、当第1四半期では新たに東急不動産(株)、(株)ぐるなび、(株)ニューオータニ等に導入され、順調に推移しております。

Webサイト上での「よくある質問」の管理や社内情報共有管理ツールとして提供されている『i-ask』は、当第1四半期では新たに(株)ハウスメイトパートナーズ、NECビッグロブ(株)等に導入され、累計導入実績が50社を超えました。

更に、(株)インターネットイニシアティブ (IIJ) 等には、総合マーケティングツール『i-entry』が導入されました。

なお、『i-search』、『i-ask』、『i-entry』の3サービスにつきましては、当第1四半期において「ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度」の認定を取得しました。

また、当第1四半期において、新たなSaaS/ASPサービスであるサイトプリントサービス『i-print』や商品サイト管理システム『i-catalog』の提供を開始いたしました。

『i-print』は、Webページをワンステップでイメージ通りにPDF化できるサービスであり、『i-catalog』は、商品ページの作成、公開、更新が一元で管理可能な、商品紹介ページ管理システムです。

月額固定サービスの特質である毎月の積み上げにより、売上高は累積的に増加しており、その結果、当事業における売上高は206百万円(前年同期比23.5%増)と順調に推移いたしました。

○ 言語処理関連事業

言語処理関連事業につきましては、(株)ニューズウォッチが、新たな事業収益体制の構築に向けた諸施策を迅速に実施してまいりました。

同社は、企業及び個人向けニュース配信・検索サービス、サイト内検索サービス、情報ポータルサイト『フレッシュアイ』の運営等、独自の自然言語処理・フィルタリング技術及びインターネット検索技術を活用したサービスを提供しております。

当第1四半期では、同社の運営する『フレッシュアイモバイル』を中心としたモバイルサイトの広告売上が堅調に推移するとともに、スマートフォンへの対応として最適化表示を行うことで、収益化が進んでおります。

また、大手メディアサイトにおいて、当社のフレッシュアイペディアのコンテンツを利用したペディアプラスが導入されました。

その結果、当事業における売上高は171百万円となりました。

○ データベース事業

データベース事業につきましては、データベース・コミュニケーションズ(株)の基幹データベース管理システム『M204』の売上は、大手金融機関向けのメインフレームプロダクトが前期に終了したことにより、18百万円となり、前年同期比で44百万円の減少となりました。

また、特許管理システム『PatentManager』の売上は14百万円となり、前年同期比で3百万円の増加となりました。

その結果、当事業における売上高は33百万円(前年同期比55.9%減)となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

資産につきましては、前連結会計年度末に比べ18百万円増加し、1,741百万円となりました。その主な要因は、税金還付金等による現金及び預金の増加等によるものであります。

（負債）

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ18百万円増加し、361百万円となりました。その主な要因は、その他流動負債（仮受金）の増加等によるものであります。

（純資産）

純資産につきましては、四半期純利益を36百万円計上したものの、配当による剰余金の減少が34百万円発生し、その他有価証券評価差額金が1百万円減少したため、前連結会計年度末から増減なく1,379百万円となりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成23年8月15日の決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

SaaS/ASP事業につきましては、サイト内検索サービス『i-search』、Webサイト上での「よくある質問」の管理や社内情報共有管理ツールとして提供されている『i-ask』、総合マーケティングツール『i-entry』及び企業の電話窓口等で、音声による自動音声応答を行うシステム『IVR』等、SaaS/ASP型サービスの月額固定売上が順調に増加しており、売上高は830百万円と大幅な増収を見込んでおります。

言語処理関連事業につきましては、前期では半期の連結であったのに対し、当期では通期で寄与してまいります。引き続き、企業及び個人向けニュース配信『Brain』『Infocast』の拡販に努めるとともに、情報ポータルサイト『フレッシュアイ』『フレッシュアイモバイル』の有効活用及びサイト内検索サービス『sitenavi』、企業サイト向けコンテンツ提供サービス等の拡販に努め、売上高670百万円を見込んでおります。

データベース事業につきましては、メインフレーム向け基幹データベース管理システム『M204』から、特許管理システム『PatentManager』等への製品・サービスのポートフォリオ転換を推進しております。知的財産関連向けのシステムは、大手製造業向けに堅調に推移すると予想され、売上高140百万円を見込んでおります。

以上のことから、連結売上高は1,640百万円（前年同期比21.4%増）と見込んでおります。

連結営業利益につきましては260百万円（前年同期比26.3%増）、連結経常利益につきましては258百万円（前年同期比22.2%増）としております。

連結当期純利益につきましては、繰延税金資産の取り崩しが発生するものの、180百万円（前年同期比32.5%増）としております。

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	633,601	643,757
受取手形及び売掛金	191,130	213,212
有価証券	—	60,003
その他	98,622	50,689
流動資産合計	923,354	967,662
固定資産		
有形固定資産	45,576	42,587
無形固定資産		
のれん	328,474	319,781
その他	6,986	6,350
無形固定資産合計	335,460	326,132
投資その他の資産		
投資有価証券	126,148	115,387
繰延税金資産	236,230	231,411
その他	56,054	58,244
貸倒引当金	△114	△94
投資その他の資産合計	418,319	404,949
固定資産合計	799,356	773,668
資産合計	1,722,711	1,741,331
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,429	38,714
1年内返済予定の長期借入金	40,000	40,000
未払法人税等	8,826	1,455
その他	124,026	147,665
流動負債合計	198,282	227,835
固定負債		
長期借入金	140,000	130,000
その他	4,554	3,723
固定負債合計	144,554	133,723
負債合計	342,836	361,559

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成23年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,133,011	1,133,011
資本剰余金	661,498	661,498
利益剰余金	△124,965	△123,139
自己株式	△297,678	△297,678
株主資本合計	1,371,865	1,373,691
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,008	6,080
その他の包括利益累計額合計	8,008	6,080
純資産合計	1,379,874	1,379,772
負債純資産合計	1,722,711	1,741,331

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)
売上高	315,915	411,236
売上原価	165,618	186,017
売上総利益	150,297	225,218
販売費及び一般管理費	112,764	168,641
営業利益	37,532	56,576
営業外収益		
受取利息	217	138
有価証券売却益	1,074	—
その他	293	1,501
営業外収益合計	1,585	1,639
営業外費用		
支払利息	54	710
投資事業組合運用損	469	7,511
その他	5	319
営業外費用合計	530	8,541
経常利益	38,587	49,675
税金等調整前四半期純利益	38,587	49,675
法人税、住民税及び事業税	2,308	828
法人税等調整額	△32,874	12,102
法人税等合計	△30,566	12,930
少数株主損益調整前四半期純利益	69,154	36,744
四半期純利益	69,154	36,744

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	69,154	36,744
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,125	6,080
その他の包括利益合計	△2,125	6,080
四半期包括利益	67,029	42,825
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	67,029	42,825
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間（自平成22年7月1日 至平成22年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 2
	ASP事業	データベ ース事業	プロモー ション事 業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	167,018	76,940	71,802	315,762	153	315,915	—	315,915
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,800	—	—	1,800	—	1,800	△1,800	—
計	168,818	76,940	71,802	317,562	153	317,715	△1,800	315,915
セグメント利益	57,660	26,823	1,680	86,164	153	86,317	△48,784	37,532

(注) 1 セグメント利益の調整額△48,784千円は、セグメント間取引消去△1,800千円、各報告セグメントに配分していない当社の管理部門に係る費用△46,984千円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成23年7月1日 至平成23年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 2
	SaaS/ASP 事業	言語処理 関連事業	データベ ース事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	206,204	171,089	33,942	411,236	—	411,236	—	411,236
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,240	15	—	2,255	—	2,255	△2,255	—
計	208,444	171,104	33,942	413,491	—	413,491	△2,255	411,236
セグメント利益	79,674	27,854	5,776	113,305	△11	113,294	△56,717	56,576

(注) 1 セグメント利益の調整額△56,717千円は、各報告セグメントに配分していない当社の管理部門に係る費用△56,717千円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。